



ぶらり相生第4号

平成29年7月

## 「丸型郵便ポストも文化財？」

以前は、丸型郵便ポストをどこの街でも見かけることができました。しかし、昨今はほとんど見かけることがなくなりました。丸型ポストの正式名称は、「郵便差出箱1号（丸型）」で1949（昭和24）年に登場し、丸型ポストの最終型となりました。その後、1970（昭和45）年に後継の「郵便差出箱1号（角型）」が登場し、丸型の生産・設置は終了しました。



その中であって、相生市内にも何箇所か丸型ポストが堂々と存在しています。右上の写真は相生市立歴史民俗資料館入口にあるものです。

ちなみに、東京23区内では現在5個が存在しているだけです。なんと人口比で日本一が、兵庫県の芦屋市です。人口約9万人に対し、19個の丸型ポストがあります。

現在、近代化遺産、近代化産業遺産が注目されています。皆さんの記憶に新しい「富岡製糸場」は、近代化遺産で初めて世界遺産に登録されました。身の回りの身近な存在に心やる想いをもちたいものですね。